

専門ゼミナール : BC13
Special Seminar

専門ゼミナール(BC13)の履修について

(1)履修方法

国際学ゼミナールⅠ	3単位（通年・集中）：標準履修年次	3年次
国際学ゼミナールⅡ	3単位（通年・集中）：標準履修年次	4年次
独立論文	3単位（通年・集中）：標準履修年次	3年次

上記の科目のうち、2科目（計6単位）を取得することが、卒業要件となる。

原則として、独立論文と卒業論文とを、同一年度内に、履修することはできない。

(2)留学・休学する学生への注意

①BC13系の科目は、留学中に取得した科目との読替え（単位の認定）ができない。

②協定校への交換派遣「留学」（3年次から4年次）、休学による「海外研修」（「外国の大学等（外国の大学、研究所等の教育・研究機関）」への留学のケースに限る）を行う学生は、学類長及び学群長の承認を得た後、関係学則に基づき、「国際学ゼミナールⅠ」の継続履修申請を行うことができる。

③留学し、4年間で卒業する場合は、独立論文の単位取得が必要となる。この場合は、3年次に独立論文の履修登録をし（年度初めの履修期間に不在予定の場合は留学前に（予定）指導教員の了承を得ておくこと）、3年次の1月に、留学先から提出すること。あるいは帰国後、独立論文の継続履修申請をして、9月末までに提出すること。

④3年次から4年次にかけて、②以外の理由で休学する学生は、「国際学ゼミナールⅠ」を継続履修することはできない。このような学生のために、実施学期をずらした「独立論文」科目がある。当該学生は3年次に指導教員の了承を得て、学群教務に指導教員届けを提出し、復学後の4年次、この「独立論文」の履修登録をし、学年度内に独立論文を提出する。

国際学ゼミナールⅠ・Ⅱ(標準履修年次 Ⅰ=3年次・Ⅱ=4年次)
International Studies I・II

国際学ゼミナールⅠ・Ⅱは下記のリストの教員が担当する。指導教員を変更する場合は、システム情報エリア支援室にゼミ指導教員登録票を再度提出すること。
なお、秋学期にゼミ説明会が行われる（具体的な日程は、10月に掲示にて確認すること）。

令和7年度（2025年度）国際学ゼミナールⅠ・Ⅱ 担当教員

ムロド・イスマイロフ	Murod ISMAILOV	ヴィンドゥ・マイ・チョタニ	Vindu Mai CHOTANI
井出 里咲子	Risako IDE		
シモナ・ヴァシラケ	Simona Mirela VASILACHE	寺内 大左	Daisuke TERAUCHI
大倉 沙江	Sae OKURA	外山 文子	Ayako Toyama
大友 貴史	Takafumi OHTOMO	内藤 久裕	Hisahiro NAITO
奥島 真一郎	Shinichiro OKUSHIMA	中野 優子	Yuko NAKANO
柏木 健一	Kenichi KASHIWAGI	潘 亮	Liang PAN
亀山 啓輔	Keisuke KAMEYAMA	東野 篤子	Atsuko HIGASHINO
茅根 由佳	Yuka KAYANE	日高 薫	Kaoru HIDAKA
黒川 義教	Yoshinori KUROKAWA	藤澤 奈都穂	Natsuho FUJISAWA
佐藤 麻理絵	Marie SATO	ブオング・ディン・トゥアン・グエン	VUONG Dinh Tuan Nguyen
柴田 政子	Masako SHIBATA	マダニ・セイェッド・ツィアディン	MADANI Seyed Ziaeddin
白川 直樹	Naoki SHIRAKAWA		
鈴木 大三	Taizo SUZUKI	松島 みどり	Midori MATSUSHIMA
関根 久雄	Hisao SEKINE	松原 康介	Kosuke MATSUBARA
高橋 伸	Shin TAKAHASHI	毛利 亜樹	Aki MORI
レスリー・タック川崎	Leslie TKACH-KAWASAKI	アブギルマ・モゲス	Abu Girma MOGES
ティムール・ダダバエフ	Timur DADABAEV	余 征飛	Zhengfei YU
		吉田 脩	Osamu YOSHIDA
		ファトワ・ラムダニ	Fatwa RAMDANI

独立論文 Independent Research

(1) 独立論文のスタイル

- ① 使用言語
原則として、日本語または英語とする。ただし、他の言語を用いる場合には、指導教員による了承の上、学類長に許可願を提出し、学類長の許可を得ること。
- ② 長さ
日本語の場合... 5,000 字以上（注釈を含む。ただし、図表等は除く。）
英文の場合 文のダブル・スペース（A4 用紙に約 20–23 行）で 7 ページ以上
（本文と注釈を含む。表紙、目次、図表、参考文献リストは含まない。）
上記の長さは、ミニマム要件であり、上限はない。
- ③ 様式
A4 版、横書き。卒業論文の様式(A), (B), (C)を参考にすること。
本文にはページ番号を付し、各章節のページを目次から参照できるようにすること。

(2) 提出方法

- 提出期間：2026 年 1 月 21 日（水）午前 9 時から 1 月 23 日（金）午後 3 時まで（厳守）
提出方法：独立論文の PDF ファイルを Manaba の独立論文のコースページにアップロードすることによって提出（詳細は別途通知する）

なお、これまでの独立論文は、3 K 棟 2 階のラウンジと学類事務室に保管されており、閲覧可能です（本件に関し、執筆された独論は事務室で閲覧可とするので、非公開を希望する学生は事前に申し出ること）。